

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-2 県立病院における良質な医療提供
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 杉原雅行	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	総合周産期母子医療センターとしての医療の実施（中央病院）		
目的	(1) 対象	周産期医療を必要とする人	
	(2) 意図	適切な医療を受けている	
事業概要	総合周産期母子医療センターに搬送される重症の妊産婦・新生児を受け入れて、適時・適切な医療・看護を提供する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	妊産婦・新生児搬送受入率	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
			取組目標値					
	式・定義	妊産婦・新生児受入数／妊産婦・新生児搬送数	実績値	100.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	0	0
うち一般財源(千円)		

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度には、地域の周産期医療機関や周産期母子医療センター等から49件の搬送を受け入れるなど、県内唯一の総合周産期母子医療センターとしての中央病院の役割を果たしている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、リスクの高い妊娠・出産や高度な医療を必要とする新生児への医療を提供している。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

周産期医療の更なる充実が必要。

### ②困っている状況が発生している「原因」

医療従事者の確保が困難な状況が続いている。

### ③原因を解消するための「課題」

産婦人科医師をはじめとする医療従事者の安定的な確保が必要。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

関係大学や（一社）しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努める。

## 9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。